

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立梨の実寮	所管課	障害福祉課
所在地	南アルプス市有野4370	設置年月日 (改築年月日等)	昭和53年8月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県手をつなぐ親の会、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	管理・居住棟(4人部屋×10、5人部屋×2、2人部屋×1、1人部屋×4)、作業棟(252㎡)、ほだ場(641.52㎡)、発生舎(680.4㎡)、植菌棟(54㎡) <サービス定員数> ・生活介護(50名)・就労移行支援(10名)・就労継続B型(10名)・施設入所支援(50名)・短期入所(6名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・施設入所支援・短期入所 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	○山梨県立あけぼの医療福祉センター (重症心身障害児入所(60)・通所(15)、肢体不自由児入所(20)・通園(10)) ○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	生活介護	46	45	48	50
	就労移行支援	6	5	4	10
	就労継続支援B型	10	9	9	10
	施設入所支援	48	41	42	50
	短期入所	6	6	5	6
	利用者数合計	116	106	108	
	目標値	126	126	126	126
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
対21年度比	100.0%	91.5%	93.2%	108.7%	
稼働率	92.0%	84.1%	85.7%		

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	184,162,957	178,110,000	181,010,226	172,300,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	28,936,702	12,960,000	21,772,212	6,850,000
	収入合計(A)	213,099,659	191,070,000	202,782,438	179,150,000
支出	人件費	143,404,938	138,980,000	146,800,411	136,040,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	54,153,203	52,090,000	45,097,462	43,110,000
	(うち外部委託費)(B)	240,000	200,000	145,005	200,000
	支出合計(C)	197,558,141	191,070,000	191,897,873	179,150,000
収支差額(A-C)		15,541,518	0	10,884,565	0
外部委託比率(B÷C)		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
利用者一人当りの経費		0	0	0	0

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成24年3月、 実施方法:利用者へのアンケート、 回答数:51人(施設入所支援サービス利用者)
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用者のケア	82.5%	5.3%	8.8%	3.5%
秘密保持について	89.5%	1.8%	8.8%	0.0%
食事面	89.5%	7.0%	3.5%	0.0%
入浴支援	94.7%	0.0%	5.3%	0.0%
健康管理面	87.7%	3.5%	7.0%	1.8%
買い物、外出、外泊について	78.9%	3.5%	17.5%	0.0%
設備・管理面	63.2%	14.0%	14.0%	8.8%
各項目の平均	83.7%	5.0%	9.3%	2.0%

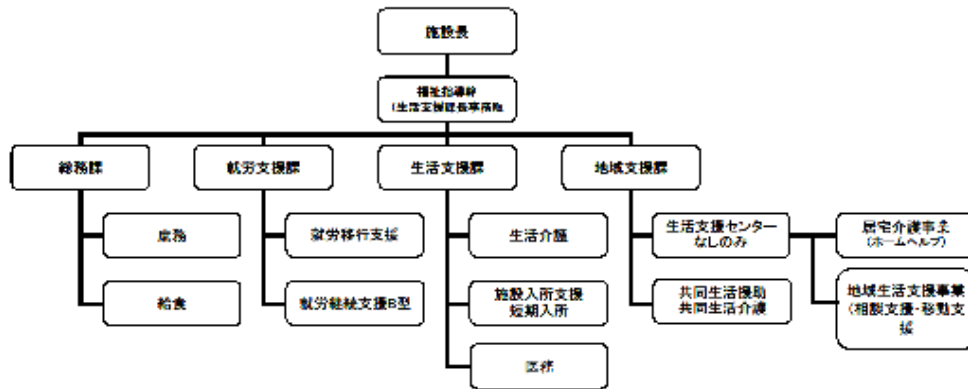
※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・現状、4人部屋だが1人部屋か2人部屋が良い。 ・浴室の洗い場の床が冬は冷たく、寒い。 ・毎月必要な小遣いを担当職員に申し出て使っているが、額を増やしてほしい。
利用者の意見への対応	・施設の構造的な問題なので、利用者に説明し、納得してもらっている。 ・金銭管理については、出来るだけ利用者個々の要望に応えるようにしている。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設は老朽化しているが、法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備の老朽化が目立つため、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果概ね適性の実施されている。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力された。 在宅障害者に対しては、機関誌や相談窓口の設置により情報提供に努めているが、今後はホームページを開設し、より広く情報提供することで在宅障害者への支援を充実させること。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援事業 ・指定相談支援 ・居宅介護、重度訪問介護 ・移動外出支援 ・共同生活介護、共同生活援助 	自主事業申請(業務計画書)どおり適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業の年間利用実績は以下のとおりであり、就労移行支援以外のサービスは、概ね計画どおり執行が出来た。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所支援 84% ・生活介護 96% ・就労移行支援 40% ・就労継続B型 90% ・短期入所 83% 	関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のためのPRIに努めている。利用状況が、低下傾向にあるサービスについては、実習生や見学者を積極的に受け入れる等、今後も引き続き利用者のニーズに沿ったサービスの提供のために努力すること。
収支状況	収入は若干減額したが、経費削減を徹底したことで、効率的な運営を行なうよう努力した。	前年度と比較して収入が減少しているが、管理運営費を抑えるため、施設の維持管理等、管理運営費の削減に努めている。今後も施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増加することが予想されるため、計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
利用者満足度	ほとんどの項目で「満足している」との回答が出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	概ね維持管理業務・運営業務に関して満足を得られているので、今後においても利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ①施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。 ②経費削減に努めている。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ①条例、協定等に基づき適正な執行を行った。施設・設備の老朽化が目立つが、利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行なった。 ②今後も経費の削減に努力した。 ③利用者個々のニーズに対応できるよう、努力した。 	

7. 管理体制(組織図)



職名	施設長	福祉指導長	総務課長	事務員	支援課長	生活支援員	職業指導員	就労指導員	保健師	栄養士	調理員	調剤師	計	生活支援センター	
男	1	1		1	2	6	1	1					(1)	13 (1)	(2)
女			1			7	1		1	1	4			15	1(2)
計	1	1	1	1	2	13	2	1	1	1	4	(1)	28 (1)	1(4)	

○非常勤 ○兼務